

【まちづくりの目標】人が行きかい、にぎわいあふれるまち

【政策】快適で暮らしやすい生活環境づくり

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	
														評価	評価コメント（課題・今後の方向性等）		
(2402) 中心市街地の活性化	56	中心市街地の居住人口（社会増減数）	中心市街地の居住人口の社会増減数（転入者数－転出者数）の5年間（R3～7年度）の平均値。	目標値	人	-	-	-	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	⑥未達成	令和6年度单年度では、昨年度の2倍近い社会減となった。内訳を見ると、中心市街地区域内から区域外への市内転居に伴う社会減が-92人と最も多く、これまでの社会減の主な要因であった県外への転出超過数を上回っている。 令和7年度は、空家特措法に基づく固定資産税の納税者情報を活用した所有者等の把握や利活用の働きかけにより、活用可能な既存ストックの確保を図っていく。また、令和6年6月に子育て世代に適した立地に移転した街なか居住体験施設について、PR動画を作成するなど情報発信に取り組むことで、居住人口の増加に繋げていく。	まちなか未来創造課
				実績値（単年）	人	-	60	50	68	-63	-62	-117					
				実績値（平均）	人				68	2.5	-19	-43.5					
				達成率	%	-	-	-	-	達成	達成	未達成	未達成				
	57	中心市街地における歩行者・自転車通行量（平日）	当該年度の調査時点における中心市街地の主要10地点の歩行者・自転車通行量の合計。	目標値	人	-	-	-	20,100	20,300	20,500	20,700	20,900		②概ね順調	令和6年度の歩行者・自転車通行量は、平日と休日で異なる傾向となっている。平日については、鳥取駅北口やパレット鳥取付近、末広通りで通行量の増加があり、減少した地点もあったものの、全体では増加となった。 旧本庁舎跡地の広場整備や鳥取城跡の復元整備等のハード整備事業の進捗をいかしたソフト事業の展開や、リノベーションまちづくりの推進によるエリア価値の向上により、通行量の増加を図っていきたい。	まちなか未来創造課
				実績値	人	-	19,113	15,707	16,489	15,370	17,297	18,450					
				達成率	%	-	-	-	82.0%	75.7%	84.4%	89.1%					
				目標値	人	-	-	-	20,100	20,300	20,500	20,700	20,900				
	58	中心市街地における歩行者・自転車通行量（休日）	当該年度の調査時点における中心市街地の主要10地点の歩行者・自転車通行量の合計。	実績値	人	-	21,900	18,900	16,453	14,725	16,628	15,578		③やや遅延	令和6年度の歩行者・自転車通行量は、平日と休日で異なる傾向となっている。休日については、多くの地点で通行量が減少した。天候や気温などの外的要因の影響も考えられるが、より一層の施策の展開が必要である。 旧本庁舎跡地の広場整備や鳥取城跡の復元整備等のハード整備事業の進捗をいかしたソフト事業の展開や、リノベーションまちづくりの推進によるエリア価値の向上により、通行量の増加を図っていきたい。	まちなか未来創造課	
				達成率	%	-	-	-	81.9%	72.5%	81.1%	75.3%					
				目標値	人	-	-	-	20,100	20,300	20,500	20,700	20,900				